

都市計画道路の新規事業化について（報告）

1 概要

平成 30 年度より、3 路線 4 地区の都市計画道路について新たに予算化し、事業を進めていきますので、ご報告します。

なお、30 年度は 4 地区とも、主に設計・測量を実施します。

【対象路線】

路線名（地区）	区	整備内容
東京丸子横浜線（綱島地区）	港北区	道路拡幅
汐見台平戸線（大岡地区、別所地区）	南 区	道路拡幅
泥亀釜利谷線（寺前地区）	金沢区	道路新設

2 各路線の概要

（1）東京丸子横浜線（綱島地区）

東京丸子横浜線（綱島街道）は市北部と川崎市方面を連絡する重要な路線であり、第 1 次緊急輸送路となっています。沿道では平成 34 年度に開業予定の相鉄・東急直通線の新駅（新綱島駅（仮称））整備や、新駅周辺における土地区画整理事業・市街地再開発事業、アップル社を含む綱島サスティナブル・スマートタウンの開発など、様々なまちづくりが進められています。

本路線は新駅へのアクセス道路であり、新駅整備にあわせ一定の事業効果が得られるよう、整備を進めていきます。

延長：約 9 7 0 m 計画幅員：2 0 m（4 車線、両側歩道）



(2) 汐見台平戸線（大岡地区、別所地区）

本路線は、藤の木小学校及び別所小学校の通学路となっており、また、本市の「横浜市地震防災戦略における地震火災対策方針」において、延焼遮断帯として整備を進める「地震火災対策重点路線」に位置付けられています。そこで、歩道設置及び拡幅整備を行うことで、児童・生徒を含む歩行者の安全確保を図るとともに、大規模地震時における延焼被害の軽減を図ります。早期に道路拡幅の効果を得られるよう積極的に整備を進めていきます。

<大岡地区> 延長：約330m 計画幅員：15m（2車線、両側歩道）

<別所地区> 延長：約520m 計画幅員：11～15m（2車線、両側歩道）



(3) 泥亀釜利谷線（寺前地区）

本路線は、本市の「横浜市地震防災戦略における地震火災対策方針」において、延焼遮断帯として整備を進める「地震火災対策重点路線」に位置付けられています。そこで、大規模地震時における延焼被害の軽減を図るため、延焼遮断帯としての効果を早期に発現できるよう、道路の新設整備を進めていきます。

延長：約510m 計画幅員：15m（2車線、両側歩道）

